

市民が安心と希望を持って生活できるまちを目指して



公明党議員団
平山 伸二 議員

労とストレスの蓄積などによって、罹患する可能性が高くなり、医療費、患者と保険者の負担も増える。

また、後遺症が残るなど、

様々な悪循環も予想される。

令和3年9月議会では、万が一の健康被害の補償など、情報を収集し、対応するとの答弁だったが、現時点の国の検討状況を聞きたい。

答 国の審議会では、带状疱疹の発生頻度やワクチン効果の持続性などから、接種に最適な対象年齢、効果、安全性等が議論され、検討が進められている。国の定期接種化に向けた動向を注視し、ワクチンが定期接種化された際は、市民への接種を勧奨したい。

再発言 国内でも、多くの自治体が带状疱疹予防ワクチンの公費助成をしており、県内でも朝倉市と太宰府市が行っている。国の定期接種化が決まり、ワクチン接種が開始される前の期間だけでも市民の健康維持のため、可能な限りの予算を組み、同ワクチンの接種を希望する市民への助成を検討するよう強く要望する。

防災対策

問 線状降水帯への今後の対応を聞きたい。

答 今年度は昨年度の災害対応を踏まえるとともに、気象台からの御意見も参考にし、新たに内水氾濫における避難情報の発令基準を設定した。この基準は、大牟田市防災会議で承認されているもの。

今後は、この基準に基づき避難情報の発令や避難所開設などを行い、地域住民の速やかな避難行動につながるよう早めの対応を行いたい。

空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正

問 特別措置法の一部改正の主な改正点を聞きたい。

答 改正点としては四つあり、1点目は、所有者の責務強化で、現行の適切な管理の努力義務に加え、国や自治体の施策に協力する努力義務の追加。

2点目は、空き家等の活用拡大で、市区町村が空き家の活用を促進する区域や指針を定め、接道や用途の規制を合理化し、建物の用途変更や建て替えを促すもの。

3点目は、放置すれば特定空家等になるおそれがある空き家等を管理不全空家等として指導や勧告ができ、勧告を受けた場合、固定資産税の住宅用地特例が除外される。

4点目は、特定空家等への命令等の時間がない場合における緊急代執行制度の創設。

生物多様性の保全・回復軌道

問 生物多様性は私たちが生活し、生きる上で重要であると考えます。市長の生物多様性に関する見解を聞きたい。

答 生物多様性とは、生き物たちの豊かな個性とつながりのことであり、全ての命は一つ一つに個性があり、それらが直接的、また間接的に支え合って生きており、生物多様性の保全は地球の持続可能性の土台とも言われている。

生物多様性の保全は、持続可能な社会を実現する上で極めて重要であると考えており、第3次環境基本計画の基本方針においても、自然共生社会の実現を掲げ、生物多様性の保全に向けた施策を推進する。

今後も、自然環境の専門家や環境団体等の意見を聴き、生物多様性の保全に努めたい。

带状疱疹予防ワクチン接種

問 带状疱疹予防ワクチン接種費用助成は、市民の健康維持に欠かせないと考えます。带状疱疹は水疱瘡罹患経験や疲

